

たてくるジオパーク だより 第36号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉ info@tatekuro.jp

🌐 https://tatekuro.jp/

📘 https://facebook.com/tatekuro

「TKGジオカフェ in HYGGE」を開催しました

12月22日（火）に、朝日町の「ハーブと喫茶 HYGGE」で、今年度3回目で2020年最後の“ジオカフェ”を開催しました。“ジオカフェ”とは、立山黒部ジオパークや会場のお店、当日の話題などに興味のある人が会場のお店に集まり、食事や飲み物を楽しみながら提供された話題や地域のことについて語りあう活動です。

今回のゲストスピーカーはラジオやイベントの司会などで活躍されているフリーアナウンサーの下澤弥生さんで、自分の生い立ちや家族、朝日岳の登山と自然のすばらしさについてお話をしていただきました。お父さんが朝日小屋の管理人をしていらっしゃることで、下澤さんは小さな頃から朝日岳に上ります。そんな時、一緒に山に登った方々から、自分の体に負担をかけないこと、みんなで気を配りながら安心・安全に登山すること等、たくさんの教えを受けたそうです。これらが今の司会の仕事に生き、「人の動きをスムーズにするためにはどうしたらよいか、周りの人を輝かせるにはどうしたらよいか」等、常に状況を見て考えながら話すことを大事にしているとのことでした。「山に登ることで周りを見ることの大切さを教えてもらった。山は、人と人との縁が深まる場所、純粋になれる場所」とよくとおる美しい声と笑顔で話される下澤さんの言葉は、参加されたみなさんに深く届いたことと思います。

今回のジオカフェの会場になった「ハーブと喫茶 HYGGE」は、下澤さんのお友達がやっていらっしゃるお店です。HYGGE(ヒュグゲ)とはデンマーク語で「大切な人たちと過ごす居心地の良い時間や空間」を意味するそうです。地元食材が入った体に優しいカレーライスやハーブティーをいただいて、ほっと安らぐ時間となりました。



今回のお店 ♥ ハーブと喫茶 HYGGE

富山県下新川郡朝日町沼保 925

TEL:0765-32-3818

営業時間：10:00 ~ 18:00

定休日：日曜日、月曜日

いろいろなハーブがそろっているお店です。ハーブ以外にも朝日町の作家さんが作った雑貨などの販売も行っています。喫茶ではハーブティーやカレー、スイーツなどをいただくことができます。大切な人とぜひ出かけてみてください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



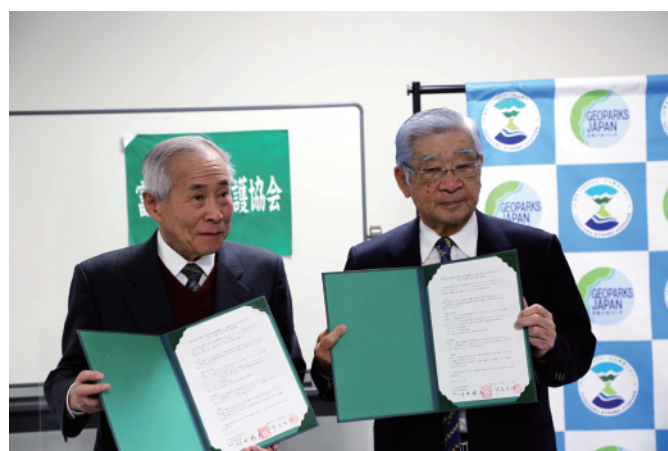
富山大学と協定を締結しました

12月1日（火）に、富山大学と連携・協力に関する協定を締結しました。この協定は、持続可能な開発や地域資源の研究という共通の目的を相互に理解・発展させていくために、これまで以上に緊密かつ組織的に連携・協力を進めていく体制強化を図るものです。また、相互の強みを活かして連携していくことで、地域社会の維持・発展に寄与することを目的としています。今後、ジオパーク活動を通して、地域の持続的な発展に寄与できるよう、富山大学と協力しながら努めていきたいと思ひます。



富山県自然保護協会と協定を締結しました

12月16日（水）に、富山県自然保護協会と、ジオパーク活動を通じて自然保護意識の高揚と普及を図り、富山の素晴らしい自然を守り育て、次世代へ繋いでいくことを目的に、連携・協力に関する協定を締結しました。富山県自然保護協会は富山県内の自然環境の現状把握や、自然保護に関する啓蒙・普及に長年取り組まれてきた団体です。今後、立山黒部ジオパークのサイトの保全に関する情報収集や、普及啓発活動等について、お互いに連携・協力しながら、立山黒部ジオパークエリアの自然の素晴らしさを伝えていく活動を進めていきたいと思ひます。



ジオ視点での地域学習のお手伝いへ行ってきました！

立山黒部ジオパークでは、専門員や会員等が、学校でのジオ視点からの地域学習のお手伝いをしています。12月17日には、滑川市立滑川中学校の科学の時間で、「滑川ってどんなところ？—ジオ視点で滑川を見てみよう—」のタイトルで講演しました。講演では滑川の大地の特徴や、昔の人が大地とどのように向き合っで滑川特有の文化を築いてきたかなどを紹介しました。12月21日、22日には、魚津市立よつば小学校で、「立山と弥陀ヶ原火山」について、実験やクイズも入れながらお話してきました。子どもたちはいつも見上げている立山の今まで知らなかった自然や歴史を学んで、びっくりしていました。

今後も大地や地形に係する「身近ななぜ？」の学習のお手伝いをしていく予定です。ご希望の方はぜひ立山黒部ジオパーク協会までご相談ください。



ジオ&みずはくツアー 2020



黒部川扇状地に点在する水や大地の成り立ちに関する自然・歴史の名所を巡り、見て・触れて・感じながら、地元を知る地域学芸員の解説を聞く体験型フィールドツアーです。

ジオパークって何？ ～拠点施設に行ってみよう～

◎日 時：2021年1月24日（日）9:00～16:00

◎行き先：立山黒部ジオパーク交流施設「うなジオ」、

黒部市地域観光ギャラリー、黒部市吉田科学館 ほか

※詳細については黒部市吉田科学館HPをご覧ください

◎対象：小学生以上・一般（小学校3年生以下は保護者同伴）

◎定員：15名（先着順）

◎参加費：500円（資料、保険代等） ※小学生以下は無料

◎集合場所：①富山駅北口（9:00集合） ②富山地方鉄道新黒部駅前（10:00集合）

◎持ち物：弁当、飲み物 等

◎申し込み：開催日の1ヵ月前から3日前まで電話受付（受付時間 9:30～17:00）

黒部市吉田科学館 TEL：0765-57-0610



立山カルデラ砂防博物館 フィールドウォッチング

立山の雪を体験しよう

楽しい実験を通して不思議な雪の世界を学びます。「ホテル森の風立山」の特別ランチを楽しんだあとは、「かんじき」をはいて真っ白な雪原を散策し、思いっきり雪の世界を体験します。

◎日 時：2021年2月6日（土）10:00～16:00

◎対象：小学3年生以上（小・中学生は保護者同伴）

◎定員：20名（先着順）

◎参加費：大人（中学生以上）3,000円、小学生2,000円

※昼食代、移動費など

◎集合場所：富山県 立山カルデラ砂防博物館

◎持ち物・服装：防寒服、長靴又はスノーブーツ、防寒手袋、帽子 等

◎申込締切：2021年1月30日（土）まで

下記ホームページからお申し込みください。

<https://hokuriku-tour.com/archives/tour/tg008>

◎詳細については下記連絡先にお問い合わせください

（一社）地域・観光マネジメント TEL：076-471-6103（10:00～18:00）



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



日本一古い砂粒「ジルコン」～中国大陸からやってきた鉱物～

黒部市宇奈月町音沢地区では、今から約2億5千万年前にできた宇奈月花崗岩と呼ばれる岩石がみられます。宇奈月花崗岩の中からは、日本で最も古い38億年前のジルコンの砂粒が発見されています。マグマがゆっくり冷え固まってできた花崗岩中に、岩石ができた時期よりも古い砂粒が含まれているのは、花崗岩の元となったマグマが周りの岩石から古い砂粒を取り込み、冷え固まったためと考えられています。宇奈月花崗岩ができた2億5千万年前ごろは、北中国と南中国の2つの大陸が衝突した時期です。日本列島の基礎となっている岩石のほとんどは南中国大陸由来で、今から数億年前よりも新しい時代に作られたものです。しかし、宇奈月花崗岩中から発見された38億年前のジルコンのような古い時代のジルコンは、東アジアでは中国北東部から多く見つかっています。このことから、宇奈月地域が中国大陸の一部だったころ、特に北中国大陸由来の中国北東地域と関係が深かったことがうかがえます。38億年前のジルコンの発見は、日本列島の成り立ちを解き明かす上で重要な手掛かりとなるのです。



日本一古いジルコンを含む宇奈月花崗岩



明けましておめでとろございます

昨年中は、立山黒部ジオパークの活動に対し、
 温かなご協力やご支援をいただき、ありがとうございました。
 本年も引き続きよろしくお願ひいたします。

令和3年1月

一般社団法人立山黒部ジオパーク協会
 事務局長 今堀 喜一

立山町岩峠寺からみた剣岳・大日岳・立山

会員を募集しています！

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしております。

※ 興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧くださいか、立山黒部ジオパーク協会(076-431-2089)までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
 TATEYAMA KUROBE GEOPARK

